

事務事業名	下水道管渠維持管理事業			担当	上下水道部 下水道課 維持係			
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			増補版施策名			
施策名	2	下水道事業の推進			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	下水道法、真岡市下水道条例				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和57年度～）			
予算科目	9.公共下水道事業特別会計	1.公共下水道	2.施設管理費		2.管渠管理費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	快適で衛生的な生活環境の確保と公共用水域の水質保全を目的に公共下水道供用開始区域内の下水道管渠施設（汚水管渠、公共汚水桝、中継ポンプ、雨水管渠、雨水調整池）の維持管理業務を行う。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 31年度実績 施設の維持管理及び保守点検等委託 ・人孔及び公共汚水桝目視調査96.7km ・TVカメラ調査3.2km ・施設の補修（修繕）工事108箇所 ・施設の除草・清掃 ・下水道台帳調製（亀山北、中郷・萩田地区他） 2年度計画 施設の維持管理及び保守点検等委託 ・人孔及び公共汚水桝目視調査100.0km・TVカメラ調査4.5km・汚水管渠止水工事・人孔及び公共汚水桝補修工事・施設の除草・清掃・下水道台帳調製（亀山北、中郷・萩田地区他）・人孔蓋取替工事	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 下水道供用開始区域に設置してある施設。	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 管路施設等の機能維持と道路占用における安全確保。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 快適で衛生的な生活環境の確保	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)

(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	10,000
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	55,298	55,921	54,938	52,101	64,011
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	55,298	55,921	54,938	52,101	74,011	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	2,858	3,037	3,154	3,189	4,864
		人件費計(B)	千円	11,869	12,604	13,149	12,893	19,665
トータルコスト(A)+(B)		千円	67,167	68,525	68,087	64,994	93,676	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	昭和58年3月の供用開始に伴い、管渠施設の維持管理が必要となった。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	供用開始後、処理区域の拡大と旧二宮町との合併により施設が増大している。 供用開始区域 ・S58.3（供用開始時面積）130ha ・R2.3（現在の供用開始面積）1,256.5ha（真岡処理区 1,096.1ha 二宮処理区 160.4ha）
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 生活環境の改善、公共用水域の水質保全に必要な施策である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市が設置管理する施設であり妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 下水道供用開始区域に設置してある施設を対象とし、管路施設等の機能維持と道路占用における安全確保を意図していることから妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 施設の機能維持が目的どおり実施されている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 適正な維持管理ができなくなり、有収率の減少につながる。 道路の安全管理に支障が出る。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 施設の機能維持のための委託費や修繕工事等が主なものであり、削減すれば支障が出る。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 管理する施設が年々増加している。また、施設の管理や保守点検などは委託している。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 維持管理費は下水道使用料で賄っている。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							